

## 工事竣工台帳資料作成チェックリスト

※必ずチェックしてうえで提出してください（該当なしのものには斜線）

工事竣工台帳の記載内容は、台帳整備の資料となりますので正確に記載していただきますようご協力お願いいたします。

項目	チェック項目	チェック欄	摘要
工事竣工台帳	1) 施工年度の記載		
	2) 工事場所の記載		
	3) 占用箇所路線名・路線番号		
	4) 関連工事の申請許可日および許可番号 申請者（開発業者）名、住所、連絡先の記載		
	5) 施工業者（本管）の名前、住所、担当者及び連絡先の記載 施工業者（取付管）の名前、住所、担当者及び連絡先の記載		
	6) 流下方式の記載		
	7) 工事内容の記載		
	8) (管渠工；管種・管径・延長)・(人孔工；人孔種別・設置数)・ (公共樹；型・深さ・設置数)・(取付管；管種・管径・延長)の記載		
	9) 添付図面の枚数の記載		
出来形平面図 (樹・取付管工)	1) 公共樹の種類は、規定の種別(A、B、C型)、樹蓋の径及び深さを明示しているか。		
	2) 公共樹に <u>鍍鉄蓋</u> 、 <u>防護蓋等</u> の使用時に種別及び規格を明示しているか。		
	3) 取付管の <u>管種、管径、勾配及び延長</u> (“L=”を付して)を明示しているか。 本管への <u>接続部分の土被り</u> を明示しているか。		
	4) 公共樹、雨水樹及び取付管の位置は、 <u>下流及び上流人孔からの距離</u> (“L=”を付して)を明示しているか。		
	5) 既設下水道本管の <u>流下方式、管種、管径、流下方向</u> を明示しているか。		
出来形平面図 (管渠工) (人孔工)	1) <u>実測(出来形)の管渠の管種・管径・延長・勾配・流下方向・地盤高・土被り・管底高、 人孔の種別・地盤高・人孔深・副管高さを朱書きで明示しているか。</u> ←表記については裏面の表記例に基づくこと 人孔蓋の <u>種別</u> (雨、合)及び <u>規格</u> (T-25、親子蓋等)。汚水またはT-14は記載省略可。		
	2) <u>縮尺1/500以上</u> の平面図に出来形図を記入しているか。 <u>方位・縮尺</u> を明示しているか。 オフセットは <u>新設人孔蓋中心</u> からの距離を明示しているか。 但し、特殊人孔は <u>管渠会合点も併記</u> すること。		
	3) オフセットは官民界の隅切点等、 <u>街区官民界</u> からの距離を明示しているか。 街区不明時は路肩等からの距離。 交差点部にある人孔は、 <u>3点以上</u> でオフセットを取っているか。 台帳基本地図には電柱、乗り入口や民境界等の位置データが無いため、 <u>オフセット点として無効</u> となる。		
	4) 既設道路へ割込人孔を設置した際の <u>下流人孔との距離</u> は明示してあるか。		
出来形縦断面図 (管渠工) (人孔工)	1) <u>実測(出来形)の管渠勾配、地盤高、土被り、管底高、区間及び追加距離</u> を朱書きで明示しているか。		
	2) 平面縦断面図に <u>管種・基礎形式・管径及び管路延長</u> を明示しているか。		
	3) 副管種別(内、外)、 <u>管径及び落差</u> を明示しているか。		

→裏面へ

写真	1)	施工前・施工中・仮復旧の <b>写真</b> があるか。 ※ <b>施工中にあたっては作業内容がわかるよう正確に。</b>		
その他 (撤去)	1)	<b>埋殺、廃止構造物</b> がある場合は、平面図に位置、種類(鋼矢板、管渠等)及び処置状況を明示してあるか。 (残存管は将来不明管となる恐れが有る為、必ず図面に明示する。)		
	2)	施工中、不明管を発見した場合は、平面図に明示してあるか。		
	3)	その他指示したもの ( )		

### ＜表記例＞

項目	単位	数値	表記方法
延長	m	0.00	<u>1/100</u> の位まで表示(少数第2位まで 3位以下は切捨て)
勾配	‰	0.0	<u>1/10</u> の位まで表示(少数第1位まで 2位以下は切捨て)
管低高 地盤高 土被り 人孔深 副管高	m	0.000	<u>1/1000</u> の位まで表示(少数第3位まで 4位以下は切捨て)